

天武天皇期の、自然現象に関する記述（日本書紀より）

天武	西暦	月	日	
5	677	夏		大千ばつ
		7		彗星出現
6	678	5		千ばつ
		6	14	大地震
7	679	12		筑紫国で大地震、幅4m長さ6km余の亀裂・多数の民家崩壊
8	680	6	1	桃の実ほどのヒョウが降る
		7		千ばつ
		10	11	地震
		11	14	地震
9	681	7		千ばつ
		8	8	洪水
		14		木を折り家を壊す大風が吹く
		11	1	日食
10	682	6	24	地震
		9	16	彗星出現
		17		火星と月が重なる
		10	1	日食
		18		地震
		11	2	地震
11	683	1	19	地震
		3	7	地震
		7	17	地震
		8	3	20時頃、金星が東から西の空によぎった
		11		全国で、火の色をした旗のような物が空に浮かんで北に流れた
		12		大地震
		17		地震
12	684	7		千ばつ
		9	2	大風が吹く
13	685	6		千ばつ
		7	23	彗星
		10	14	22時頃、大地震（白鳳南海地震）
		11	21	20時頃、7つの星と一緒に東北の方向に流れ落ちた
		23		18時頃、星が東の方向に落ちた、大きさはやかん程度か
				20時頃、大空がすっかり乱れ、雨のように隕石が降る
14	686	3		信濃国に灰が降って、草木がみな枯れた
		12	10	西の方から地震